

V O J A J E

Agosto 4, 2017
土井先生の活動日記
Honduras Vol.1

ホンジュラスに到着して1週間

みんなに心配をかけましたが、無事 7/24 (月) 日本 (大阪→東京→アトランタ) を出発し、無事にホンジュラスの首都テグシガルパに到着しました。今は首都から 30 分ほど離れたサンタルシアという町にいます。8月末まで主にスペイン語を復習し、その後教育事務所に配属され、本格的に活動します。1回目のツッコミは以下の通り

- ★ 首都テグシガルパは危なくて徒歩で移動できない
確かに怖いかも。でも歩いている人が全然いないかと言われればそんなことはない。リアル北斗の拳はちょっと言い過ぎかな。家の壁の上には有刺鉄線が普通にある。
- ★ 首都のスーパーに行けば日本の食材とか醤油は手に入る。
- ★ 生活は普通にできる。インターネットもつながるし、水道の水は飲めないけど、ちゃんと飲料用の水を飲めばお腹を壊すことはない
- ★ 物価は物にもよるけど、野菜や果物、炭酸飲料などは安い。電化製品や医療品は高め。
- ★ 貧富の差は激しい。車は日本車が多いが、ピッカピカのランドクルーザーが来たと思えば、90年代に日本で普通に見られたポンコツカローラなどが走っていたりする
- ★ 街にゴミが多い。拾ってくれる人もいなければ、自治体のゴミ収集もそこまで細かいところをチェックしない。許せないほどではないが、目にはつく
- ★ 人々は陽気。ラテンの例に漏れず、ちょっとしたことを気にしない。バスに乗ろうにもバス停がない。ドアが開いたまま走って、こまめに客を拾う。もちろん時刻表なんぞ存在しない。



左上 視察に行った小学校で授業。
1～6年生 計 20 人の複式学級
上中央 ピラ。洗濯するところ。
右上 モンドンゴ。野菜と肉のスープ。
左下 訪問した小学校。山の上にある。
右下 ある家の門。有刺鉄線がある。